

## 『想像力』

**此** 処でお話する「想像力」とは、「妄想力」ではありません。他者の痛みや苦悩に対する想像力です。

**人** と人の繋がりは、相手を思う気持ちから始まります。それがなければ、どんなに体が接近していても個と個のままです。ましてや諍いさかいは、個と個を引き離し分断します。戦争は、その最たるものです。

**口** シアによるウクライナへの侵攻が開始されてから、長い月日が経っています。また一方で、イスラエルが行っているパレスチナへの攻撃は、激しさを増すばかりです。中東諸国では、イスラム教のスニ派とシーア派との紛争が絶えません。国境をめぐる争いも各地でおきていて、ほとんどが解決されず武力闘争が今なお続いています。ミャンマーでの、軍部と民主化勢力との争いのように、国内の権力闘争が武力衝突にまで発展し、国民同士が傷つけ合い、殺戮ころさえおきています。

**こ** れらの争いは今に始まったことではありません。有史以来、この地球上において戦争や内乱のなかつたことは、一時たりともないのです。人間が2人以上集まれば強弱の違いこそあれ、いざれ必ず上下関係が生じます。その関係を納得し容認するかどうかで、争うか否かが、決まるものと思います。悲しいかな、大小を問わず争いは人間の性さが(本質)といえるのかも知れません。しかし、その争いの中にあっても、私達は「人道」を忘れてはいけないうのです。

**人** 道」とは、人の命と健康を守り、苦しみ・苦痛を予防・軽減し、人としての尊厳を確保することです。これは自分に対する他者への要望であり、誰しも願うことに違いないと思います。しかし、

人は自分への「人道」が適っても、他者の「人道」まで思い至らないことが、往々にしてあります。人に限らず生きとし生けるものは、個々の存在です。その個々の存在を繋ぐのは、相手を思う気持ちから始まります。

**人** は自分の主張が正義で最も重要なものだと考えがちですが、本当にそうなのかと常に考え直してみることが必要で、想像力は、その時にこそ必要であると私は思います。そして更に一歩進んで、他者の苦しみを想像することから、思いやりの心が生まれてくるのではないのでしょうか。

**人** 道」の敵は、利己心、認識不足、無関心、想像力の欠如と言われていきます。他者の痛みや苦悩を思いやる想像力があればこそ、はじめて人と人とが繋がって行くのではないかと考えるのです。

**今** の日本は戦争や内乱等がありませんが、政権争いや出世願望、儲け主義そして声高の自己主張が渦巻いて、揉め事や諍いさかいが日常茶飯事です。それは人間社会では致し方ないことかも知れませんが、だからこそ人の痛みを想像することが大切なのだと思うのです。日、ぎゅうぎゅう詰めの電車の中で、老若男女を問わず多くの人達が、身動きも出来ず嫌な思いしていることに想像が及べば、肩が触れたとか少し押されたといっただけ嫌な顔をしたりトラブルになることもないと思うのです。物理的な距離が幾ら近くても、相手の気持ちを想像しない限り、人は精神的に繋がれないのです。死と紙一重の戦争や内乱で苦しむ人達を思いやる気持ちは勿論のこと、平和な日常でも周りの人達の苦しみや悩みを想像することは、人として何よりも大切なことではないでしょうか。